

XIII International Cyclodextrin Symposium 参加報告書

博士前期課程 2 年 原田研究室 富増直樹

参加学会；XIII International Cyclodextrin Symposium

May 14-17 2006 “Torino Incontra” Congress Centre Torino[Italy]

今回、大学院インタラクティブ教育の支援を受け、上記学会に参加させていただきました。私にとって初めての国際学会ということで、緊張もしましたが非常に実りある経験であったと思います。

(1)研究面において

本学会では「**Migration Behavior of Secondary Cinnamate Group of α -Cyclodextrin Derivatives: Relationship between Isomerization and Formation of Supramolecular Complex**」という題目で発表しました。ポスター形式ということもあり、異分野の先生方とも双方が理解できるまで（主に私が理解できるまで）質疑応答が行えたので、今の研究に足りない視点、論点を発見することが出来ました。この研究は、本学会で得られた質問点や提案を取り入れ、9月に行われた第55回高分子討論会で新たな側面を発表するに至りました。

(2)学会での発表について

これまでに何度か学会発表を経験しましたが、外国人研究者とコミュニケーションが取れる場を常に避けてきました。本学会では当たり前ですが、受付から質疑応答まで全て外人相手だったので取り敢えず通じるまで話をするのが習慣となり、気がつけば自分から質問するようになっていました。実際に喋ってみると、多くの方が非常に分かり易く丁寧に喋ってくださり、こちらの無茶苦茶な英語に助け船を出しつつも、私の意図を理解しようとしてくださりました。「コミュニケーションが出来るようになった」というのにはほど遠い話ですが、コミュニケーションの場に歩を進めるということが出来るようになったことは、大きな前進だと思います。

最後になりましたが、このような貴重な経験の機会を与えてくださった、魅力ある大学院教育イニシアティブ「インタラクティブ大学院教育」に心から感謝いたします。